

国際交流員の
活動日誌

vol.48



Information

市政だより英語ダイ
ジェスト版を市役所、
総合支所、保原駅、梁
川駅で配布しています。

「魚の金曜日」

Fish Fridays

3月は子どもの時から魚の金曜日の月です。3月はキリスト教の四旬節と言う断食の季節で、カトリック教会ではこの季節の金曜日に肉を避け、代わりに魚を食べます。場所によって文化が異なりますが、母の故郷のウイスコンシン州では、

金曜日に五大湖からとった魚を揚げるパーティーが人気で、その飲食店では金曜の特別メニューとして魚のフライが人気です。アメリカの有名なハンバーガー店では、ある店舗の金曜の

売り上げが急に下がったので、魚のサンドイッチを売り始めました。大人気になって、今は日本でも注文できます。

日本で四旬節の決まりを守るの大変だろうと最初は思いましたが、どんどん守れるように慣れました。肉を避けるのには努力が必要ですが、世界一だと思っただけで、今では魚の金曜日を楽しみにしています。

昔は3月だけではなく金曜は一年中肉食禁止で、3月はほぼ毎日肉が食べられませんでした。近年僕はその伝統を守り始めました。やってみると、肉を食べるときより旨くなり、ありがたくなります。来日して欧米の昔の文化を守る事がより簡単になると思いませんでしたが、世界のどこよりもおいしく文化を守れますので嬉しいのです。

地域の魅力

ふる里再発見

飯野村手渡村荒地開作証文

～収蔵資料展から～

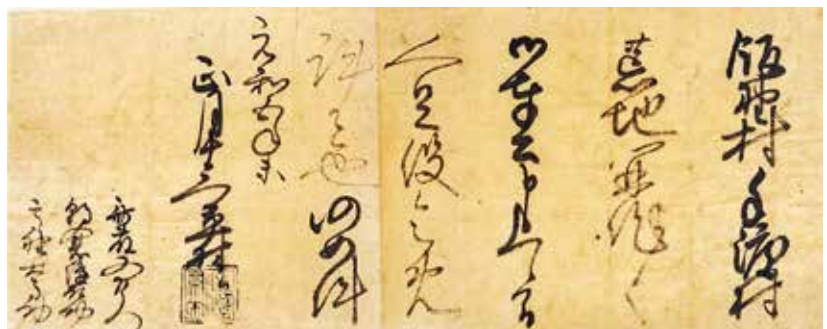
企画展
収蔵資料展4/12月まで開催中
保原歴史文化資料館

伊達市保原歴史文化資料館では2月6日④から本年度の第三回企画展「収蔵資料展」を開催しています。資料館で保管されている資料の中から伊達市の特色ある展示をしています。

長谷部家文書は、旧月館町在住の宗教詩人故長谷部俊一郎氏が所蔵していた資料です。この中から江戸時代初期の古文書を紹介します。

慶長5（1600）年8月の「関ヶ原の戦い」の後に、上杉景勝は120万石から30万石に減封されました。藩士たちは減員されず、俸禄は三分の一となり、藩をあげて領内の荒地開発を進めました。

この文書は、元和5（1619）年1月に米沢藩福島郡代平林正恒から小手郷飯野村（現在の福島市飯野町・伊達市月館町）の荒地開墾にあたる間、三人に対する人足役を免除するといふ証文です。



飯野村・手渡村
荒地開之

御奉公申上候間、

人足役令免

許者也、仍如件

元和五年末

正月十三日平林④

斎藤又左衛門

朝倉 縫殿助

高野 右馬助